

事例8

< 事例概要 >

- ・乳がん術後のホルモン療法と慢性腎不全による透析導入予定の 60 歳代の患者。死亡時画像診断 (Ai) 無、解剖 無。
- ・転倒・転落歴 有。抗血小板薬、睡眠薬、麻薬内服中。
- ・転倒・転落リスク評価 実施、病棟移動後の再評価 無。予防対策として、3 点柵を使用、歩行器は壁側に設置。
- ・入院 25 日目に透析導入のため転棟。その約 1 時間後、ベッドサイドに側臥位で倒れている状態で発見。発見時、声掛けに反応はあり、指示動作は不可能。嘔吐と左上下肢の麻痺出現。その直後に意識レベル低下あり、CT 実施。急性硬膜下血腫、外傷性くも膜下出血と診断。転倒・転落 3 日後死亡。